

未来への投資

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校3年 大下 彩音

今年、私の学校では「マレーシア国際共同課題研究」についての説明会が実施された。このプロジェクトでは、マレーシアの大学生と一緒に共同研究を行うことで、研究スキルの向上を目指す。また、実際に七月と一月にマレーシアを訪れ、現地交流を通して英語力の育成も図る。

説明会では、応募条件や具体的にどのような活動を行うのかに加え、実際に訪れる際の費用についての説明もあった。三泊五日であることもあり、二回訪れる分合計で本来は四十万円以上かかる、参加費がとても高いプロジェクトだったらしい。しかし、「将来の国際的な科学技術人材の育成」を図っているこのプロジェクトは、SSH重点枠に認定されていることで行えるものであり、文部科学省から予算支援を得ることが出来たそうだ。約五百万円をいう税金による高額支援により、費用を半分以下の約十六万円に抑えて参加できる、という説明を受け私は驚嘆した。税金がこのような使われ方をしていることを初めて知ったからだ。

私は今まで「税金」についてあまり良い印象を持っていなかった。買い物をするたびに「消費税」を払い、父の給料からは「所得税」や「住民税」が引かれ、車を所有しているだけで「自動車税」がかかるなど、何をするにしても税金がまとわりついてきてうんざりしていた。また、納めた税金が具体的にどのような用途に使われているのか調べたことがなく、税金の存在意義について考えたことがなかった。

「マレーシア国際共同課題研究」の件で気になって調べてみると、税金は健康や生活を守る「社会保障費」や道路や住宅などを整備する「公共事業費」など、私たちの生活をより良くするために使われていることを知った。そして今回のように、教育や科学技術の研究のための「文教及び科学振興費」としても高額な税金が使われていることを初めて知った。未来を担う学生への支援としても使われている税金。それは、日本の「未来への投資」と同じことなのではないか。

今回調べてみて、税金には様々な用途があることが分かった。その中でも特に「未来への投資」として使われていることに感銘を受けた。私たち学生は「投資」に報いるべく、まずは税金についてもっと学ぶべきだと思う。そして、将来大人になったときにしっかり納税し、「未来への投資」のたすきをつなぐ義務があると思う。私は今回調べたことで、充実した生活を送れる源になっている税金に、感謝の念を抱いている。たすきが途切れないように、今の私に出来ることを精一杯やって税金について学びを深めていきたい。そして、税金の存在意義について、積極的に発信していけるようになりたい。